

# 山岳救助隊ニュース 令和7年第1号

発行：令和7年1月14日  
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

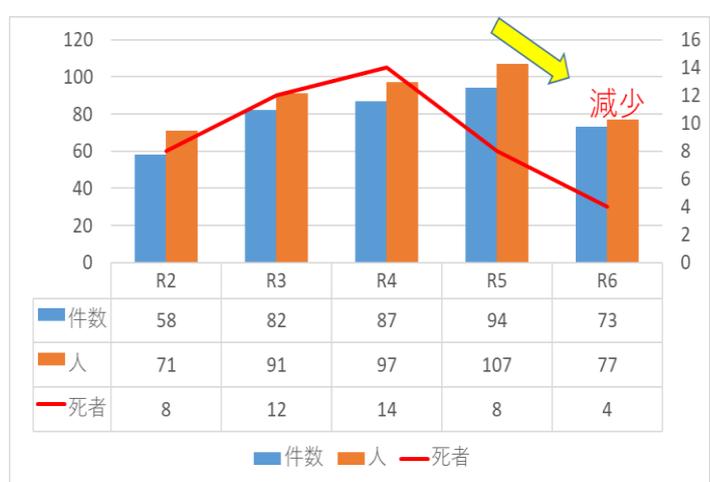
## 山岳遭難発生状況(令和6年中) 73件77人(-21件-30人)・死傷者41人(死亡4人、負傷者37人)

### 山岳遭難増加に歯止め！

令和3年から3年連続で遭難発生件数過去最多を更新してきましたが、令和6年は、関係機関と連携した各種遭難防止対策の効果もあり、減少に転じました。

引き続き、令和7年も登山道の安全対策及びSNS等を通じた情報発信を行い、遭難防止対策を図っていきます。

登山者の皆様もしっかりとした準備・計画をした安全登山の推進をお願いします。



雲取山山頂の山岳救助隊員

### ★山岳遭難情報はコチラ

#### 情報発信

エックス(旧ツイッター)で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。  
アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課 @spp\_chisouka



山岳遭難の「日付」「場所(山)」「遭難概要」「注意事項」を発信しています。ぜひ、フォローをお願いします



※本紙及び山岳遭難発生情報は、埼玉県警察ホームページ【暮らしの安全 → 山岳情報】に掲載しています。

# 実際にあった雪山・冬山遭難

## 事例：両神山 転倒骨折事故

遭難者は、1泊2日の行程で日向大谷登山口から入山、清滝小屋で1泊して翌朝し下山中、弘法の井戸付近の凍結箇所を通過する際、アイゼンを携行していたが、装着することなく通過しようとしたところ、スリップ転倒し、足首骨折などの重傷を負ったもの。

現場付近は、写真のようなガチガチのアイスバーン



教訓：短い距離でもアイゼンの装着  
所持している資機材の有効活用

## 【アイゼン使用時の注意事項】

左の写真のように雪と岩や土がミックス状態の登山道が多いのが冬の埼玉の山の特徴のひとつです。

このような場所では、こまめなアイゼンの着脱を心掛け、アイゼンの刃を岩や木の根に引っ掛けないように足元に注意が必要です。



## 【アイゼン使用時の注意事項】

せっかくアイゼンを着用していても刃が丸まっていたら十分な効果を発揮しません。

定期的に刃を磨くなどのメンテナンスをしっかりと行いましょう。

